



●次は自分と信じて巻き続ける。ヒットした魚はマダイか、底物か、はたまた……

# 三浦半島走水港出船 雨ニモマケズ タイラバ巻ケバ 大ダイ到来

撮影●本誌編集部



▲第二海壁の南側から本船航路周辺の水深40～70メートルを狙う



●曇りのち雨のこの日、マダイのアタリは沖場がりまで出続けた

▲周囲に細心の注意を払いつつ潮に乗せて船を流す廣川政信船長

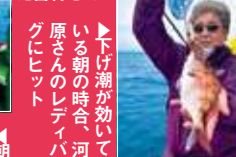
▲余裕があれば釣り人同士でタモ入れしたい



▲昼前まで粘りて巻き続けて本命をキャッチした大幸さん



▲上げ潮が効き始めた昼前、フームを追加してヒットさせた吉村さん



▲下げ潮が効いている朝の場合、河原さんのレディバグにヒット



▲朝の食いが終わりが止まったときもキャストして掛けた貴重な1枚



▲アタリがない時間が続いた昼前、回収中に城さんヒット、時が合った



▲意外と見逃さないのが、高木さんが使っていた黒のネクタイ。オレンジ、赤に挟まれてもヒットした

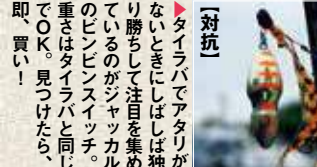
## タイラバの定番は？



【大本命】  
▲もちろんタイラバ。重さ80または100グラムを軸に、速潮時に120グラムも準備！色はオレンジ、レッドが人気、グリーン、ブラックも実績あり



▲潮が緩く船が流れないときにはメタルジグをキャストして斜めに引くのもアリ。ウエイトは60～80g



【対抗】  
▲タイラバでアタリがないときにはしばしば独り勝ちして注目を集めているのがジャックルのピンビンスイッチ。重さはタイラバと同じでOK。見つけたら、即、買い！

## タイラバタックル

●ベイトタックル  
代表的なタイラバタックルはベイトリール専用竿。ライトアジなどに使う73タイプのゲームロッドもOK。軟らかい竿がオススメ！

●スピニングタックル  
潮が緩いとき、または投げて誘いたい場合はスピニング。キャストするため竿はベイトより強め。キャスト用タイラバロッド、またはSLJやライトジグングロッドなど



## 潮が効かない日はキャスト&ジグが効く？

後日、潮が動かない日に船中4枚中3枚を釣り上げたのがメタルジグをキャストした古館さん。船が流れず、タイラバでアタリがないときに試してみる価値あり！



▲中潮で潮が動かない日や大潮回りでも潮が緩い時間帯はキャストが効くことが多い



▲ヒットルアーはボイスレスのトウキチロウTG60グラムの緑金カラー

このほか潮止まり時にキャストしたり、メタルジグを使ったり、巻で独り勝ちアイテムとして注目されているピンビンスイッチを投入したりと、アノ手この手もある。  
梅雨ときの雨もマダイにとっては食いがよくなるプラス材料、大ダイ夢見て、巻きましよう。  
(詳細は58ページ参照)

●三浦半島走水港・政信丸 廣川 政信船長

乗っ込み大ダイはもちろん、梅雨も夏も秋も冬も、つまり周年釣れるのが東京湾のタイラバ。  
その狙い時の目安となるのが「潮」の大きさ。潮が流れるほど効率よくポイントを探ることができマダイへの遭遇率が高まるため、大潮回りが基準となる。  
東京湾のタイラバポイントの中心に位置する走水港の政信丸も、主に中潮～大潮回りにタイラバへ出船、順調に釣れている。  
タイラバの面白さはなんといっても道具と釣り方が簡潔なうえ、だれにでも



▲ベテランでもノーヒットの日はあれば、初めてで大ダイ、もある

も大ダイが釣れるチャンスがあるところ。  
タイラバの色はやはりオレンジや赤が強く、重さは80グラムを軸に速潮時のために100、120グラムも用意すれば十分だ。

●1.3キロ含む2枚を釣り上げた竹本さんのタイラバは赤・黒のゼブラとオレンジ/金ヘッド

▲5月からマサバが回ってきたという「松輪サバ」で、大型もいる

